

平成 23 年 11 月 25 日

報道関係各位

銚子信用金庫

平成 23 年度上期の事業概況の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町 5 番地の 5 理事長 岩瀬喜克）の平成 23 年度上期（平成 23 年 4 月～9 月）の事業概況を公表いたします。

1. 平成 23 年度上期の事業概況

預金積金は、個人向け国債の償還金に対する定期預金募集や夏の定期預金キャンペーンなど、積極的な募集活動を展開し、前年度末比 12,470 百万円の増加となりました。

貸出金は、事業性融資については震災関連、セーフティネット保証、市町村預託融資など保証協会保証付融資を主体に推進し、個人性融資については、住宅ローン、リフォームローン、カーローンを中心に推進しました。震災関連の新規貸出実績は、283 件、2,645 百万円となっております。

しかしながら、当金庫が営業地域とする地方経済については疲弊の色が濃く、事業所の設備投資意欲や個人消費の低迷などから、総じて資金需要は鈍い状況が続いており、前年度末比 4,433 百万円の減少となりました。

損益については、貸出金の減少および貸出金利回りの低下による貸出金利息の減少などにより業務純益は前年同期比 62 百万円の減少となりました。また、大口先の倒産等による信用コスト（個別貸倒引当金）の増加などから、経常利益は前年同期比 130 百万円減少の 706 百万円となり、当期純利益は前年同期比 557 百万円減少の 449 百万円となりました。

これらの結果、経営体力を示す自己資本比率は、前年度末より 0.38 ポイント上昇の 11.60% となりました。

一方、不良債権については、每期年度当初に策定する処理計画に基づいて処理を進めるほか、優先順位を付して事業再生等の支援を実施しましたが、前記のとおり大口先の倒産等もあり、不良債権額は前年同期比では 2,260 百万円減少したものの、前年度末比では 584 百万円増加しました。不良債権比率は、前年同期比では 0.74 ポイント減少しましたが、前年度末からは、分母となる貸出金の減少もあり 0.61 ポイント上昇の 10.00% となりました。

2. 平成 23 年度上期事業概況の主要計数

(1) 預金積金・貸出金の状況

単位：百万円

	平成 23 年 3 月末	平成 23 年 9 月末	増 減
預 金 積 金	421,646	434,116	12,470
貸 出 金	166,202	161,769	△4,433

(2) 損益の状況

単位：百万円

	平成 22 年 9 月末	平成 23 年 9 月末	増 減
業 務 純 益	1,338	1,276	△62
経 常 利 益	836	706	△130
当期純利益	1,006	449	△557

(3) 自己資本比率

自己資本比率	平成 23 年 3 月末	平成 23 年 9 月末	増 減
	11.22%	11.60%	0.38%

(4) 不良債権（金融再生法上の開示債権）の状況

単位：百万円

	平成 23 年 3 月末	平成 23 年 9 月末	増 減
不良債権残高	15,760	16,344	584
不良債権比率	9.39%	10.00%	0.61%

以 上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：松岡）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町 5 番地の 5

tel：0479-25-2115 fax：0479-22-9909 e-mail：e_kikaku@choshi-shinkin.co.jp

ちよししんきん

<http://www.choshi-shinkin.co.jp>